

石動3区タウンミーティング 意見交換概要

日 時 平成28年8月31日（水）

場 所 東部公民館

出席者 22名（男17名、女5名）

市政一般に対する意見交換

【借金を増やさない施策の実施を】

（市民）構造物の建設計画もあり、説明では補助絡みの借金ということで、実質的な借金額はそう増えないという予測。大型の公共事業も大事かと思うが、借金もあまり増やさないような施策をお願いしたい。

（市長）施設を統合する公共施設については、公共施設最適化事業債があり、それを活用していく。将来的に見るとランニングコストが少なくなって良いが、イニシャルコストによる補助むらは当然あり、しっかりと実質公債費比率を睨みつつ実施していく形にしたい。

【子育て支援策の充実について】

（市民）子どもが急に熱を出したときなど、見てくれる人がおらず、若い人が本当に困っている。ファミリーサポート制度もあるが、書類を書いたり、登録したりと煩雑。保育所も統廃合していくので、職員の配置も大変だと思うが、子育て中の人の意見も聞き、充実した子育て支援策を実施してほしい。

（市長）参考にさせていただく。土曜保育、一時預かり、病児保育、病後児保育を提案して実施していきたい。統合の際には対応できるよう、しっかりと人員も配置していきたい。

【施策等の周知について】

（市民）市の現状や課題・問題点に対してどのように取り組んだかというのが一番知りたいところ。施策や進捗度合いを、見たり聞いたり把握する手段があれば、市政をもっと身近に感じられる。

（市長）市の色々な施策について、検証し、結果を市民の皆さんにお知らせするのが大切であると思っている。広報等でお知らせできるようにしていきたい。

【企業等誘致について】

（市民）アウトレットを誘致したとき、同時に遊園地などを造って、たくさんの人を呼ぶという考え方もあったのではないか。企業誘致で市民が働く場を作るのは大事だが、とにかく人を集めるということも大事だ。

（市長）交流人口を増やすことが定住人口の増加に繋がる。魅力ある町にするには

そういう仕掛けも大事。遊園地だけでなく、癒しの施設、遊びの施設といったところもアプローチしている。

(市民) 小矢部は高速道路がクロスし、港へも近く、物流の拠点として良い場所。少子高齢化で物流の世界も変わってくる。モノを運ぶ人がいなくなってくる。鉄道を利用した貨物輸送センターの誘致を考えてはどうか。

(市長) 東海北陸自動車道の付加車線設置決定など、ますます小矢部市は交通の要衝として注目を浴びる。そういう意味で物流拠点という切り口は素晴らしいと思う。状況を整理し、検討させていただきたい。

【東部小学校の統合について】

(市民) 東部小学校の生徒数が非常に少ない。保育園は統廃合するが、東部小学校の統廃合についてはどう考えているのか。

(市長) 複式学級になったら統合せざるを得ないという判断基準を設けており、今もその考え方でやっている。

【アウトレット周辺の用途変更について】

(市民) アウトレットの敷地は市で商業化運営するために用途変更したが、周辺の広大な土地は何もされていない。住宅を建てるにしても転用許可が下りるまで半年以上かかると思うが、行政的に手続きを早くすれば企業進出が進むのではないか。

(市長) 東部小学校下について都市計画マスタープランの見直しを行ったところであり、これから道路がついて開発行為が進んでいくことになる。今後、住宅等が増えることを期待している。

【アウトレット周辺開発について】

(市民) アウトレット周辺に何か他の施設、特に飲食店が欲しい。小矢部には飲食店が少ない。

(市長) 小矢部市に多くの人があるようになり、街中には飲食店が増えつつある。空き店舗の改装について最大 200 万円の助成制度もあり、これから増えてくることを期待したい。

【県出先機関等の誘致について】

(市民) 県の出先機関を誘致できれば賑わい作りになってくると思うが。

(市長) 行政改革の観点から高校再編、公共施設の再編という動きは避けて通れない。今ある高校・施設をしっかりと守っていくことが一番大事なことで、機関の誘致までは厳しい。